2010(H22).01.17

新人戦の2回戦は、0－141で清真学園に完敗

1月17日(日)12:50～鹿嶋市ト伝の郷運動公園で、県高校新人大会の2回戦が行われ、日立一高は前半0－60、後半0－81、計0－141で清真学園に完敗しました。

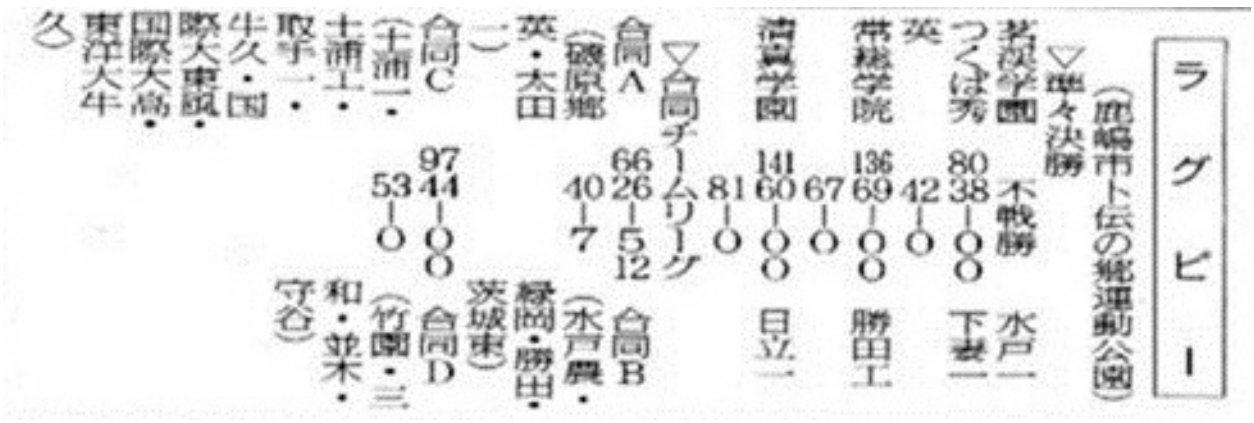
1回戦に続いて快晴・微風と絶好のコンディションで迎えたこの試合、日立一高は体格・体力・技術・経験など全てが上回る清真学園に対して、前半15分までは0－17と食い下がったものの、その後は防戦一方となり。前半終了で0－60の大差がついてしまいました。

後半も清真学園の勢いは衰えず、3本連続でノーホイッスルトライを奪われるなど更に点差は開き、終わってみれば、0－141と、創部以来最大失点及び最大得失点差での大敗となりました。(これまでのワースト1は、平成10年度県民総体(兼)国体予選準々決勝、対茗渓学園戦の3－135でした。※ちなみに最大得点及び最大得失点差での勝利は、昭和54年度関東大会県予選のBブロック2回戦、対江戸川学園戦の144－0です。)

結果は残念ですが、現実は現実として冷静かつ客観的に受け止めなければなりません。技術以前にラガーマンとしての基礎体力の不足を真剣に考えなければならないでしょう。また、ゲームへの集中力、タックルに入る勇気、ボールに対する執着心など、メンタルな部分も、もっともっと鍛えていく必要があるでしょう。

一方で、敗れはしたものの、ラインアウトの確保やキックオフディフェンスでは検討しており、果敢なタックルを連発した選手も見受けられました。

これからの1週間で、速やかに気持ちを切り替えてチームを立て直し、県内№5、そして県立高校№1の座を死守するため、1月24日(日)11:40ト伝の郷運動公園で行われる5位決定戦、対勝田工高戦には全力を傾けて欲しいと思います。



ラグビー

(鹿嶋市ト伝の郷運動公園)

▽準々決勝

茗渓学園 不戦勝 水戸一

つくば秀 80－0 38－0 下妻一

英 42－0

常総学院 136－0 69－0 勝田工

清真学園 141－0 60－0 日立一

67－0

81－0

▽合同チームリーグ

合同A 66－5 26－12 合同B

(磯原郷 40－7 (水戸農・緑岡・勝田・茨城東)

英・太田一)

合同C 97－0 44－0 合同D

(土浦一・土浦工・取手一・牛久・国際大東風・国際大高・東洋大牛久 53－0 (竹園・三和・並木・守谷)

2010. 1. 18 茨城新聞